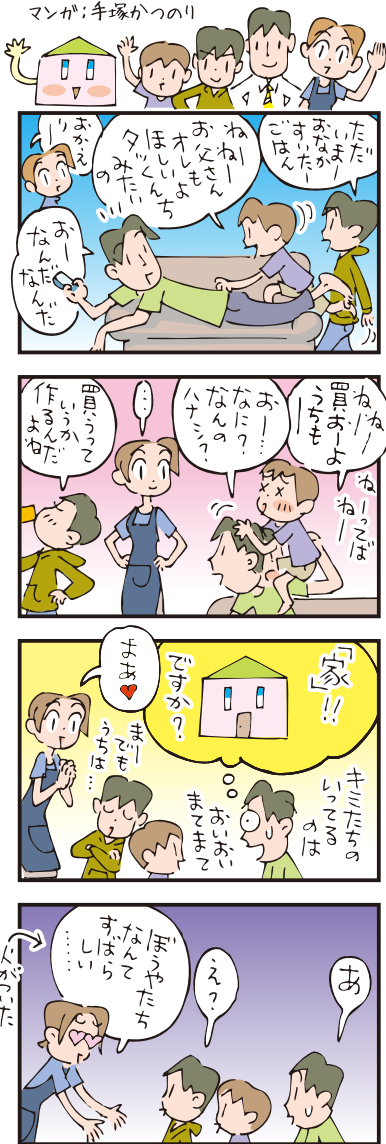


厚田さんちの獲得 マイホーム大作戦

マイホーム獲得大作戦………それは
厚田ファミリーが繰り広げるマイホーム獲得までの物語。

mission 1

住宅購入を そろそろ本腰入力で考えよ!



お父さんは、他県出身ですが、転勤で郡山に来ており、いまだアパート住まいが続いています。地元出身のお母さんと職場で知り合い結婚。お母さんは市内に実家があり、両親とも60代でとても元気。孫の面倒をみるのを楽しみにしています。

お母さんは子供の幼稚園・小学校を通じ知り合いも大勢で、できれば近くで「自宅を持ちたい」と思っていました。けれども住宅取得には一大決心がいります。土地探しから始まり、建築会社の選定など不動産の知識もありません。また、少しの貯えはありますが、住宅

厚田家のある日曜日。厚田家には、小学3年生のお兄ちゃんとお弟ちゃん、お姉ちゃんとお母さん、お父さんが、2人とも近所の佐藤さんの家に遊びに行っています。いつものお母さんの取り合いやテレビのチャンネル争いで何かと騒々しいのですが、久しぶりに穏やかな日です。ところが、お昼前に帰ってくるお父さん、僕のところも家を建てようよーと言いだしました。

遊びに行った佐藤さん宅は昨年家を建てたばかり。自分たちもお友達が集まって遊べる場所が欲しくなったようです。



ローンを組むことになるでしょう。果たしてこれから払い続けていけるのか先行きへの不安もあります。

「下の子ども来年は小学生だし、転勤でお友達と離れるのをあまり繰り返したくないわ。二。実は、お母さんの父親は大手薬品メーカーに勤めていて、中学生までに4回もの転校を経験しています。その度にさびしさやつらい思いを味わってきたのです。」

「今度の日曜日は、住宅展示場に行ってみようか!」

「とりあえず、なんとはなくてその気になりつつあるお父さんでした。」

＊ ＊ ＊

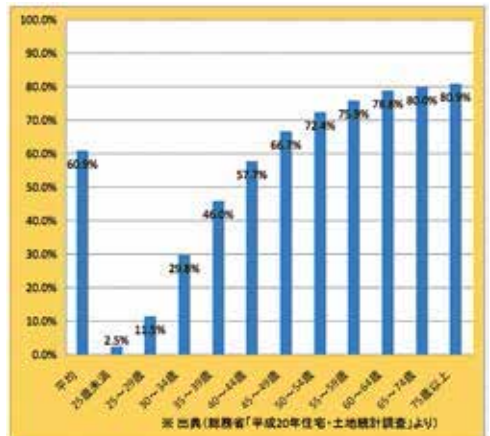
次号へつづく

データでみる 持ち家事情

総務省が5年毎に実施している住宅・土地統計調査によると、持ち家率の平均は60%前後です。年齢別では30代前半から40代前半にかけてその比率がグンと高くなります。この傾向は昭和40年頃からあまり変わりません。この年齢層の住宅を取得する動機を調べた調査では、「子供や家族のため」「もっと広い家に住みたい」「もっと質の良い住宅に住みたい」が主な要因となっています。丁度、子供が小中学校に入り、そろそろ個室が欲しいくなる年頃と重なるようです。

普通世帯の持ち家率

累計主の年齢階級別(平成20年)



お話し 大久保 元弘さん
(株)朝陽カンテイ 代表取締役
不動産鑑定士・1級ファイナンシャルプランニング技能士

株式会社朝陽カンテイ

郡山市西ノ内2丁目15-13 関ビル3F
TEL.024-973-8531

<http://www.asahi-kantei.co.jp/>